

科目名	日本語A前（日本語 I A-1前）		科目コード	FS101	
英文名	Japanese A (Japanese I A)		科目区分	【外国人留学生 日本語支援科目】(必修)	
担当教員	清水 聖子	教員コード	132	単位数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	金曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	5.学習の過程で発見した課題を探求する		◎	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	中上級レベルの文字・語彙、文法。実際JLPT試験と同じ形式で問題を解いて、試験に慣れる。JLPT試験には、読解も聴解も出題する。これらの出題問題を解けるためには、その基礎として、文字・語彙、文法の知識が必要である。文字・語彙では、漢字の読み方・書き方、語彙の意味・使い方を行う。文法では、N2の文法項目を中心に行う。文字・語彙、文法の学習は根気がいるものなので、前期・後期一年間かけて行う。				
授業の狙い・到達目標	専門性を増す大学の講義に対応する日本語能力を身につけ、より高いレベルの日本語試験に合格することが第一の目標である。文字・語彙、文法では、すべての基礎になるもので、漢字の読み方や書き方、語彙の意味や使い方、文法の意味を理解し、大学の講義がより分かるようになり、レポート作成がよりできるようになる。また、JLPT試験でも文字・語彙、文法は点数が取れやすい部分なため、繰り返し学習をし、知識が定着することを目標とし、文字・語彙、文法の点数が取れるようになる。到達目標：JLPTN2取得				
授業内容のレベル・関連科目	JLPTN2相当レベル 関連科目：「日本語 I A-1後」				
授業外学習（予習・復習）	予習として、その回で行う模擬テストをやってもらうこと。復習として、授業内でやった内容を見直すこと。小テストに備えて、内容を復習すること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	教員が用意したプリント使用。				
参考書・その他教材	必要に応じて教員が補足資料を渡す。				
課題に対するフィードバック	毎回、前回確認小テストで行った文字・語彙、文法について、解説を行う。				
成績評価方法	JLPTN2レベルの日本語定期試験				
成績評価基準	学習の到達目標にどのぐらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	授業でやった内容だけでJLPTに合格することは難しいため、授業外でも自律的に学習することが望ましい。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(mail to : shimizu@aikoku-u.org) 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。				

授業スケジュール

日本語A前（日本語 I A-1前）

1 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第1回 シラバスを熟読し、授業の内容についておおむね理解しておく 講義内容を再確認する
2 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第1回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
3 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第1回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
4 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第2回 模擬テスト問題をやってくること 講義内容を再確認する
5 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第2回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
6 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第2回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
7 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第3回 模擬テスト問題をやってくること 講義内容を再確認する
8 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第3回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
9 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第3回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
10 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第4回 模擬テスト問題をやってくること 講義内容を再確認する
11 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第4回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
12 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第4回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
13 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第5回 模擬テスト問題をやってくること 講義内容を再確認する
14 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第5回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
15 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第5回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する

科目名	日本語A後(日本語 I A-1後)		科目コード	FS102	
英文名	Japanese A (Japanese I A)		科目区分	【外国人留学生 日本語支援科目】(必修)	
担当教員	清水 聖子	教員コード	132	単位数	1単位
開講期間	後期	曜日・時限	金曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針 との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	5.学習の過程で発見した課題を探求する		◎	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	中上級レベルの文字・語彙、文法。実際JLPT試験と同じ形式で問題を解いて、試験に慣れる。JLPT試験には、読解も聴解も出題する。これらの出題問題を解けるためには、その基礎として、文字・語彙、文法の知識が必要である。文字・語彙では、漢字の読み方・書き方、語彙の意味・使い方を行う。文法では、N2の文法項目を中心に行う。文字・語彙、文法の学習は根気がいるものなので、前期・後期一年間かけて行う。				
授業の狙い・ 到達目標	専門性を増す大学の講義に対応する日本語能力を身につけ、より高いレベルの日本語試験に合格することが第一の目標である。文字・語彙、文法では、すべての基礎になるもので、漢字の読み方や書き方、語彙の意味や使い方、文法の意味を理解し、大学の講義がより分かるようになり、レポート作成がよりできるようになる。また、JLPT試験でも文字・語彙、文法は点数が取れやすい部分なため、繰り返し学習をし、知識が定着することを目標とし、文字・語彙、文法の点数が取れるようになる。到達目標：JLPTN2取得				
授業内容の レベル・関連科目	JLPTのN2相当レベル 関連科目：「日本語 I A-1前」				
授業外学習 (予習・復習)	予習として、その回で行う模擬テストをやってもらうこと。復習として、授業内でやった内容を見直すこと。小テストに備えて、内容を復習すること。			授業外学習に 必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	教員が用意したプリント使用。				
参考書・ その他教材	必要に応じて教員が補足資料を渡す。				
課題に対する フィードバック	毎回、前回確認小テストで行った文字・語彙、文法について、解説を行う。				
成績評価方法	JLPTN2レベルの日本語定期試験				
成績評価基準	学習の到達目標にどのぐらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の 注意事項や 学習上の助言	授業でやった内容だけでJLPTに合格することは難しいため、授業外でも自律的に学習することが望ましい。				
科目に関連した 教員の実務経験	特になし				
担当教員への 連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(mail to : shimizu@aikoku-u.org) 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。				

授業スケジュール

日本語A後（日本語 I A-1後）

1 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第6回 シラバスを熟読し、授業の内容についておおむね理解しておく 講義内容を再確認する
2 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第6回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
3 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第6回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
4 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第7回 模擬テスト問題をやってくること 講義内容を再確認する
5 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第7回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
6 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第7回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
7 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第8回 模擬テスト問題をやってくること 講義内容を再確認する
8 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第8回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
9 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第8回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
10 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第9回 模擬テスト問題をやってくること 講義内容を再確認する
11 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第9回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
12 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第9回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
13 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第10回 模擬テスト問題をやってくること 講義内容を再確認する
14 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第10回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する
15 回	学習内容 予習 復習	模擬テスト第10回 テスト問題確認、分からない語彙など調べておく 講義内容を再確認する

科目名	日本語B前（日本語 I B-1前）			科目コード	FS103	
英文名	Japanese B (Japanese I B)			科目区分	【外国人留学生 日本語支援科目】(必修)	
担当教員	部田 和美		教員コード	153	単位数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	月曜日/1時限		授業形態	演習
学位授与方針 との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する			
	5.学習の過程で発見した課題を探求する		◎	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	中級レベルの読解を行う。内容理解を重視した精読と、JLPTに対応するための読解問題を解く。前期は読解の中でも短文、中文を中心に行う。また、読解問題中にある漢字や語彙、文法表現等も取り上げ、日本語の総合力を高める。後半は、実際の新聞記事を使用し内容や情報を読み取る。					
授業の狙い・ 到達目標	専門性を増す大学の講義に対応する日本語能力を身につけ、より高いレベルの日本語試験に合格することが第一の目標である。幅広い話題について書かれた文章の内容を限られた時間の中で正確に理解することと一般的な話題に関する文章を読んで、話の流れや言いたいことを理解することができるようになる。JPLTに沿った読み物を繰り返し読み、問題を解くことで、試験に慣れ、問題形式を知り、試験対策につながるができる。					
授業内容の レベル・関連科目	JLPTのN2相当レベル 日本語B(後期)					
授業外学習 (予習・復習)	授業で扱った語彙や表現を定着させるように復習用課題を毎回行う。				授業外学習に 必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	教員が準備したプリントを使用。					
参考書・ その他教材	参考資料は、随時適宜配布する。					
課題に対する フィードバック	毎回、前回扱った語彙や漢字、表現などについて、記述や口頭などで確認を行う。					
成績評価方法	JLPTN2レベルの日本語定期試験					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の 注意事項や 学習上の助言	授業でやった内容だけでJLPTに合格することは難しいため、授業外でも自律的に学習することが望ましい。					
科目に関連した 教員の実務経験	特になし					
担当教員への 連絡方法	torita@aikoku-u.org					

授業スケジュール

日本語B前 (日本語 I B-1前)

1 回	学習内容 予習 復習	読解問題 内容理解(短文) シラバスを読み、1年間のスケジュールを確認しておく 授業で学んだ内容を再確認する
2 回	学習内容 予習 復習	読解問題 内容理解(短文) 短い文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
3 回	学習内容 予習 復習	読解問題 内容理解(中文) 中程度の文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
4 回	学習内容 予習 復習	読解問題 内容理解(中文) 中程度の文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
5 回	学習内容 予習 復習	読解問題 内容理解(長文) 長い文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
6 回	学習内容 予習 復習	読解問題 内容理解(長文) 長い文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
7 回	学習内容 予習 復習	読解問題 内容理解(統合理解、情報検索) 長い文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
8 回	学習内容 予習 復習	読解問題 内容理解(投稿理解、情報検索) 長い文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
9 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験読解 問題を解く これまで授業で扱った読解問題を復習しておく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
10 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験読解 問題の解説と精読 教員の指示に従い、授業で扱う部分の読解問題を読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
11 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験読解 問題の解説と精読 教員の指示に従い、授業で扱う部分の読解問題を読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
12 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験読解 問題の解説と精読 教員の指示に従い、授業で扱う部分の読解問題を読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
13 回	学習内容 予習 復習	ニュース記事を読む 事前に与えられたニュース記事を一通り読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
14 回	学習内容 予習 復習	これまでのまとめ① これまで授業で扱った読解問題を復習しておく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
15 回	学習内容 予習 復習	これまでのまとめ② これまで授業で扱った読解問題を復習しておく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。

科目名	日本語B後（日本語 I B-1後）			科目コード	FS104	
英文名	Japanese B (Japanese I B)			科目区分	【外国人留学生 日本語支援科目】(必修)	
担当教員	部田 和美		教員コード	153		単位数 1単位
開講期間	後期	曜日・時限	月曜日/1時限		授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける			2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	5.学習の過程で発見した課題を探求する			◎	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	中級レベルの読解と聴解。内容理解を重視した精読と、JLPTに対応するための読解問題を解く。後期は読解の中でも長文、統合理解を中心に行う。また、読解問題中にある漢字や語彙、文法表現等も取り上げ、日本語の総合力を高める。聴解はJLPTの聴解問題を中心に長い会話文や即時応答等を正確に聞き取る練習をする。後半は、実際の新聞記事を使用し内容や情報を読み取る。					
授業の狙い・到達目標	専門性を増す大学の講義に対応する日本語能力を身につけ、より高いレベルの日本語試験に合格することが第一の目標である。幅広い話題について書かれた文章の内容を限られた時間の中で正確に理解することと一般的な話題に関する文章を読んで、話の流れや言いたいことを理解することができるようになる。JPLTに沿った読み物を繰り返し読み、問題を解くことで、試験に慣れ、問題形式を知り、試験対策につながるができる。					
授業内容のレベル・関連科目	JLPTのN2相当レベル 日本語B(前期)					
授業外学習(予習・復習)	授業で扱った語彙や表現を定着させるように復習用課題を毎回行う。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	教員が準備したプリントを使用。					
参考書・その他教材	参考資料は、随時適宜配布する。					
課題に対するフィードバック	毎回、前回扱った語彙や漢字、表現などについて、記述や口頭などで確認を行う。					
成績評価方法	JLPTN2レベルの日本語定期試験					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	授業でやった内容だけでJLPTに合格することは難しいため、授業外でも自律的に学習することが望ましい。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし。					
担当教員への連絡方法	torita@aikoku-u.org					

授業スケジュール

日本語B後（日本語IB-1後）

1 回	学習内容 予習 復習	読解問題 内容理解(長文) 長い文章を読み、内容理解を測る 授業で学んだ内容を再確認する
2 回	学習内容 予習 復習	読解問題 内容理解(長文) 長い文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
3 回	学習内容 予習 復習	読解問題 内容理解(長文) 長い文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
4 回	学習内容 予習 復習	読解問題 内容理解(統合理解) 情報検索 長い文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
5 回	学習内容 予習 復習	読解問題 内容理解(統合理解) 情報検索 長い文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
6 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験読解 問題を解く 過去問題を解き、長時間読解の準備をする 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
7 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験読解 解説と精読 教師の指示に従い、授業で扱う部分の読解問題を読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
8 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験読解 解説と精読 教師の指示に従い、授業で扱う部分の読解問題を読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
9 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験読解 解説と精読 教師の指示に従い、授業で扱う部分の読解問題を読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
10 回	学習内容 予習 復習	読解問題 内容理解(長文) 長い文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
11 回	学習内容 予習 復習	ニュース記事を読む(1) 事前に与えられたニュース記事を一通り読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
12 回	学習内容 予習 復習	ニュース記事を読む(2) 事前に与えられたニュース記事を一通り読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
13 回	学習内容 予習 復習	ニュース記事を読む(3) 事前に与えられたニュース記事を一通り読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
14 回	学習内容 予習 復習	これまでのまとめ① これまで授業で扱った読解問題を復習しておく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
15 回	学習内容 予習 復習	これまでのまとめ② これまで授業で扱った読解問題を復習しておく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。

科目名	日本語ⅡA-前		科目コード	FS205	
英文名	Japanese II A		科目区分	【外国人留学生 日本語支援科目】(必修)	
担当教員	清水 聖子	教員コード	132	単位数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	金曜日/3時限	授業形態	演習
学位授与方針 との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	5.学習の過程で発見した課題を探求する		◎	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	中上級レベルの文字・語彙、文法。実際JLPT試験と同じ形式で問題を解いて、試験に慣れる。JLPT試験には、読解も聴解も出題する。これらの出題問題を解けるためには、その基礎として、文字・語彙、文法の知識が必要である。文字・語彙では、漢字の読み方・書き方、語彙の意味・使い方を行う。文法では、N2の文法項目を中心に行う。文字・語彙、文法の学習は根気がいるものなので、前期・後期一年間かけて行う。				
授業の狙い・ 到達目標	専門性を増す大学の講義に対応する日本語能力を身につけ、より高いレベルの日本語試験に合格することが第一の目標である。文字・語彙、文法では、すべての基礎になるもので、漢字の読み方や書き方、語彙の意味や使い方、文法の意味を理解し、大学の講義がより分かるようになり、レポート作成がよりできるようになる。また、JLPT試験でも文字・語彙、文法は点数が取れやすい部分なため、繰り返し学習をし、知識が定着することを目標とし、文字・語彙、文法の点数が取れるようになる。到達目標: JLPTN2取得				
授業内容の レベル・関連科目	JLPTN2相当レベル 関連科目:「日本語ⅡA-後」				
授業外学習 (予習・復習)	授業で学習した文字・語彙、文法を定着するために確認小テストを毎回行う。		授業外学習に 必要な時間	各回4時間、 合計60時間	
使用教科書	『日本語能力試験N2予想問題集(改訂版)』国書日本語学校編 国書刊行会				
参考書・ その他教材	必要に応じて教員が細く資料を渡す。				
課題に対する フィードバック	翌週、確認小テストのフィードバックを行う。				
成績評価方法	JLPTN2レベルの日本語定期試験				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の 注意事項や 学習上の助言	授業でやった内容だけでJLPTに合格することは難しいため、授業外でも自律的に学習することが望ましい。				
科目に関連した 教員の実務経験	特になし				
担当教員への 連絡方法	質問はメールでも受け付ける。 本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。				

授業スケジュール

日本語ⅡA-前

1 回	学習内容 予習 復習	問題1漢字読み 1～4 問題2 表記 1～4 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
2 回	学習内容 予習 復習	問題3 語形成 1～4 問題4 文脈規定 1～4 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
3 回	学習内容 予習 復習	問題5 言い換えと類義 1～4 問題6 用法 1～4 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
4 回	学習内容 予習 復習	問題7 文の文法1 1～4 問題8 文の文法2 1～4 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
5 回	学習内容 予習 復習	問題9 文章の文法 9-1 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
6 回	学習内容 予習 復習	問題1漢字読み 5～8 問題2 表記 5～8 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
7 回	学習内容 予習 復習	問題3 語形成 5～8 問題4 文脈規定 5～8 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
8 回	学習内容 予習 復習	問題5 言い換えと類義 5～8 問題6 用法 5～8 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
9 回	学習内容 予習 復習	問題7 文の文法1 5～8 問題8 文の文法2 5～8 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
10 回	学習内容 予習 復習	問題9 文章の文法 9-2 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
11 回	学習内容 予習 復習	問題1漢字読み 9～12 問題2 表記 9～12 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
12 回	学習内容 予習 復習	問題3 語形成 9～12 問題4 文脈規定 9～12 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
13 回	学習内容 予習 復習	問題5 言い換えと類義 9～12 問題6 用法 9～12 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
14 回	学習内容 予習 復習	問題7 文の文法1 9～12 問題8 文の文法2 9～12 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
15 回	学習内容 予習 復習	問題9 文章の文法 9-3 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。

科目名	日本語ⅡA-後			科目コード	FS206	
英文名	JapaneseⅡA			科目区分	【外国人留学生 日本語支援科目】(必修)	
担当教員	清水 聖子	教員コード	132	単位数	1単位	
開講期間	後期	曜日・時限	金曜日/3時限	授業形態	演習	
学位授与方針 との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する			
	5.学習の過程で発見した課題を探求する		◎	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	中上級レベルの文字・語彙、文法。実際JLPT試験と同じ形式で問題を解いて、試験に慣れる。JLPT試験には、読解も聴解も出題する。これらの出題問題を解けるためには、その基礎として、文字・語彙、文法の知識が必要である。文字・語彙では、漢字の読み方・書き方、語彙の意味・使い方を行う。文法では、N2の文法項目を中心に行う。文字・語彙、文法の学習は根気がいるものなので、前期・後期一年間かけて行う。					
授業の狙い・ 到達目標	専門性を増す大学の講義に対応する日本語能力を身につけ、より高いレベルの日本語試験に合格することが第一の目標である。文字・語彙、文法では、すべての基礎になるもので、漢字の読み方や書き方、語彙の意味や使い方、文法の意味を理解し、大学の講義がより分かるようになり、レポート作成がよりできるようになる。また、JLPT試験でも文字・語彙、文法は点数が取れやすい部分なため、繰り返し学習をし、知識が定着することを目標とし、文字・語彙、文法の点数が取れるようになる。到達目標:JLPTN2取得					
授業内容の レベル・関連科目	JLPTN2相当レベル 関連科目:「日本語ⅡA-前」					
授業外学習 (予習・復習)	授業で学習した文字・語彙、文法を定着するために確認小テストを毎回行う。			授業外学習に 必要な時間	各回4時間、 合計60時間	
使用教科書	『日本語能力試験N2予想問題集(改訂版)』国書日本語学校編 国書刊行会					
参考書・ その他教材	必要に応じて教員が細く資料を渡す。					
課題に対する フィードバック	翌週、確認小テストのフィードバックを行う。					
成績評価方法	JLPTN2レベルの日本語定期試験					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の 注意事項や 学習上の助言	授業でやった内容だけでJLPTに合格することは難しいため、授業外でも自律的に学習することが望ましい。					
科目に関連した 教員の実務経験	特になし					
担当教員への 連絡方法	質問はメールでも受け付ける。 本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。					

授業スケジュール

日本語ⅡA-後

1 回	学習内容 予習 復習	問題1漢字読み 13～17 問題2 表記 13～17 シラバスを熟読し、授業の内容についておおむね理解しておく 授業内容を確認し、復習課題を行う。
2 回	学習内容 予習 復習	問題3 語形成 13～17 問題4 文脈規定 13～17 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
3 回	学習内容 予習 復習	問題5 言い換えと類義 13～17 問題6 用法 13～17 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
4 回	学習内容 予習 復習	問題7 文の文法1 13～17 問題8 文の文法2 13～17 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
5 回	学習内容 予習 復習	問題9 文章の文法 9-4 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
6 回	学習内容 予習 復習	問題1漢字読み 18～22 問題2 表記 18～22 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
7 回	学習内容 予習 復習	問題3 語形成 18～22 問題4 文脈規定 18～22 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
8 回	学習内容 予習 復習	問題5 言い換えと類義 18～22 問題6 用法 18～20 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
9 回	学習内容 予習 復習	問題7 文の文法1 18～22 問題8 文の文法2 18～22 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
10 回	学習内容 予習 復習	問題9 文章の文法 9-5 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
11 回	学習内容 予習 復習	問題1漢字読み 23～26 問題2 表記 23～26 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
12 回	学習内容 予習 復習	問題3 語形成 23～26 問題4 文脈規定 23～26 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
13 回	学習内容 予習 復習	問題5 言い換えと類義 23～26 問題6 用法 21～23 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
14 回	学習内容 予習 復習	問題7 文の文法1 23～26 問題8 文の文法2 23～26 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。
15 回	学習内容 予習 復習	問題9 文章の文法 9-6 問題をやってくること 授業で扱った内容を確認し、復習課題を行う。

科目名	日本語ⅡB-前		科目コード	FS207	
英文名	Japanese II B		科目区分	【外国人留学生 日本語支援科目】(必修)	
担当教員	部田 和美	教員コード	153	単位数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	木曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針 との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	5.学習の過程で発見した課題を探求する		◎	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	上級レベルの読解と聴解。内容理解を重視した精読と、JLPTに対応するための読解問題を解く。後半は、実際の新聞記事を使用し内容や情報を読み取る。聴解は、JLPTの聴解問題を中心に長い会話文や即時応答等を正確に聞き取る練習をする。読解、聴解とも関連する語彙や文法にも触れる。				
授業の狙い・ 到達目標	専門性を増す大学の講義に対応する日本語能力を身に付け、より高いレベルの日本語試験に合格することが第一の目標である。読解では、様々な文章スタイルや内容を多読することによって日本語表現形式に慣れ、瞬時に内容を理解し、重要な情報を読み取れる能力をつける。聴解では、聞き取る力を養うだけでなく、話し言葉特有の言い回し等を習得することで自然なコミュニケーションができるようになる。				
授業内容の レベル・関連科目	JLPTN2～N1レベル 日本語ⅠB-1(前期・後期)				
授業外学習 (予習・復習)	授業で扱った語彙や表現を定着させるよう復習用課題を毎回行う。			授業外学習に 必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	『日本語能力試験N2予想問題集(改訂版)』国書日本語学校編 国書刊行会				
参考書・ その他教材	必要に応じて教員が補足資料を渡す。				
課題に対する フィードバック	毎回、前回扱った語彙や漢字、表現等について、記述や口頭などで確認を行う。				
成績評価方法	JLPTN2レベルの日本語定期試験				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。				
履修上の 注意事項や 学習上の助言	授業内だけでなく普段から日本語を読むという習慣をつけ、長い文章に対する苦手意識をなくすよう努力すること。				
科目に関連した 教員の実務経験	特になし。				
担当教員への 連絡方法	torita@aikoku-u.ac.jp				

授業スケジュール

日本語ⅡB-前

1 回	学習内容 予習 復習	読解 短文1、2、3 中文1 短い文章を黙読、音読してみる 日本語ⅠBで使用したテキストの内容を復習しておく
2 回	学習内容 予習 復習	読解 中文2、3 統合理解1 中程度の文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
3 回	学習内容 予習 復習	読解 長文1、情報検索1 中程度の文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
4 回	学習内容 予習 復習	読解 長文2 情報検索2 長い文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
5 回	学習内容 予習 復習	聴解 課題理解1～7 ポイント理解1～5 日本語のニュース等を何度も聞き、内容把握をする 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
6 回	学習内容 予習 復習	聴解 概要理解1～5 即時応答1～10 日本語のニュース等を何度も聞き、内容把握をする 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
7 回	学習内容 予習 復習	聴解 概要理解6～9 統合理解1～3 日本語のニュース等を何度も聞き、内容把握をする 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
8 回	学習内容 予習 復習	聴解 ポイント理解6～10 統合理解4～6 日本語のニュース等を何度も聞き、内容把握をする 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
9 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験読解 問題を解く 1年次等過去に行った模擬試験問題等をもう一度解き、長時間読解の準備をする もう一度自身の誤答に関しその原因を把握する。難しかった文章をシド確認する。
10 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験読解 問題の解説と精読 教員の指示に従い、授業で扱う部分の読解問題を読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
11 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験読解 問題の解説と精読 教員の指示に従い、授業で扱う部分の読解問題を読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
12 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験聴解 教員が指示した聞き取り問題をする 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
13 回	学習内容 予習 復習	ニュース記事を読む(1) 事前に与えられたニュース記事を一通り読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
14 回	学習内容 予習 復習	ニュース記事を読む(2) 事前に与えられたニュース記事を一通り読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う。
15 回	学習内容 予習 復習	これまでのまとめ これまで授業で扱った読解問題を復習しておく これまでの課題プリントや資料等を再度読み、

科目名	日本語ⅡB-後		科目コード	FS208	
英文名	Japanese II B		科目区分	【外国人留学生 日本語支援科目】(必修)	
担当教員	部田 和美	教員コード	153	単位数	1単位
開講期間	後期	曜日・時限	木曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	5.学習の過程で発見した課題を探求する		◎	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	上級レベルの読解と聴解。内容理解を重視した精読と、JLPTに対応するための読解問題を解く。後半は、実際の新聞記事を使用し内容や情報を読み取る。聴解は、JLPTの聴解問題を中心に長い会話文や即時応答等を正確に聞き取る練習をする。読解、聴解とも関連する語彙や文法にも触れる。				
授業の狙い・到達目標	専門性を増す大学の講義に対応する日本語能力を身に付け、より高いレベルの日本語試験に合格することが第一の目標である。読解では、様々な文章スタイルや内容を多読することによって日本語表現形式に慣れ、瞬時に内容を理解し、重要な情報を読み取れる能力をつける。聴解では、聞き取る力を養うだけでなく、話し言葉特有の言い回し等を習得することで自然なコミュニケーションができるようになる。				
授業内容のレベル・関連科目	JLPTN2～N1レベル 日本語ⅠB(前期・後期)・日本語ⅡB(前期)				
授業外学習(予習・復習)	授業で扱った語彙や表現を定着させるよう復習用課題を毎回行う。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	『日本語能力試験N2予想問題集(改訂版)』国書日本語学校編 国書刊行会				
参考書・その他教材	必要に応じて教員が補足資料を渡す。				
課題に対するフィードバック	毎回、前回扱った語彙や漢字、表現等について、記述や口頭などで確認を行う。				
成績評価方法	JLPTN2レベルの日本語定期試験				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	授業内だけでなく普段から日本語を読むという習慣をつけ、長い文章に対する苦手意識をなくすよう努力すること。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし。				
担当教員への連絡方法	torita@aikoku-u.ac.jp				

授業スケジュール

日本語ⅡB-後

1 回	学習内容 予習 復習	読解 短文4, 5, 6 統合理解3 短い文章を黙読、音読してみる 日本語ⅠBで使用したテキスト、または日本語ⅡB前期で扱った問題を見ておく
2 回	学習内容 予習 復習	読解 中文4, 5 情報検索3 中程度の文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
3 回	学習内容 予習 復習	読解 長文3 聴解 即時応答11~18 長い文章を読み、内容理解を測る 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
4 回	学習内容 予習 復習	聴解 課題理解8~12 概要理解10~14 日本語のニュース・会話等を何度も聞き、内容把握をする 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
5 回	学習内容 予習 復習	聴解 ポイント理解11~14 統合理解7~10 日本語のニュース・会話等を何度も聞き、内容把握をする 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
6 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験読解 問題を解く 過去問題を解き、長時間読解の準備をする 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
7 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験読解 解説と精読 教師の指示に従い、授業で扱う部分の読解問題を読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
8 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験読解 解説と精読 教師の指示に従い、授業で扱う部分の読解問題を読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
9 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験聴解 教員の指示した聞き取り問題を解く 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
10 回	学習内容 予習 復習	JLPT模擬試験聴解 日本語のニュース・会話等を何度も聞き、内容把握をする 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
11 回	学習内容 予習 復習	聴解 課題理解13~15 即時応答19~25 日本語のニュース・会話等を何度も聞き、内容把握をする 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
12 回	学習内容 予習 復習	ニュース記事を読む(1) 事前に与えられたニュース記事を一通り読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
13 回	学習内容 予習 復習	ニュース記事を読む(2) 事前に与えられたニュース記事を一通り読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
14 回	学習内容 予習 復習	ニュース記事を読む(3) 事前に与えられたニュース記事を一通り読んでおく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う
15 回	学習内容 予習 復習	これまでのまとめ これまで授業で扱った読解問題を復習しておく 授業で扱った内容を確認し復習課題を行う